



市報 みなみ魚沼

令和元年度（平成31年度）当初予算総額

600億413万円 昨年度比
+ 22億8,019万円 (+ 4.0%)

会計別内訳

一般会計（基本的な行政サービスなど）

304億2,300万円 昨年度比
+ 5億300万円 (+ 1.7%)

特別会計総額（一般会計から切り離された特定の事業）

126億8,600万円 昨年度比
△ 51億6,200万円 (△ 28.9%)

国民健康保険	53億4,600万円	△ 1億5,600万円 (△ 2.8%)
後期高齢者医療	5億6,100万円	+ 300万円 (+ 0.5%)
介護保険	66億7,600万円	+ 2億4,100万円 (+ 3.7%)
城内診療所	1億300万円	△ 400万円 (△ 3.7%)
下水道	[企業会計へ移行]	△ 52億4,600万円 (△ 100%)

注) 令和元年度から、下水道会計は特別会計から公営企業会計へ移行しました

公営企業会計総額（事業の収益によって運営している事業）

168億9,513万円 昨年度比
+ 69億3,919万円 (+ 69.7%)

水道事業	38億5,360万円	+ 3,157万円 (+ 0.8%)
大和病院事業	14億9,036万円	+ 2,744万円 (+ 1.9%)
市民病院事業	47億9,007万円	+ 1億1,909万円 (+ 2.5%)
下水道事業	67億6,109万円	+ 67億6,109万円 (+ 100%)

注) 公営企業会計は支出ベースで記載してあります

端数処理の都合で表示値と計算値が整合しない場合があります（次ページ以降についても同様）

住み続けられる ふるさとへ

新年度が始まり、市の各種事業もスタートしております。令和元年度の予算と重点事業の概要をお知らせするため、「市報予算特集号」をお届けします。

今年度も引き続き、市長就任時からのテーマである「若者が帰ってこられる、住み続けられる南魚沼」の実現に向けた予算編成を行いました。限りある財源を活用し、主要な施策を着実に進捗させるとともに、歳入に見合った予算規模で、みなさまの期待にこたえるべく調整を図りながら取り組んだ予算となっております。

ご一読いただき、市政に対して一層のご協力とご提言をいただければ幸いです。

南魚沼市長 林 茂男

